

平成27年度 横浜国立大学大学院国際社会科学府  
専門職学位課程 法曹実務専攻（法科大学院）

法学既修者コースA日程入学試験

# 民事系科目

時間 13:00～15:00

●注意事項（よくお読みください）

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 自分の受験番号と机の上の受験番号が同じであることをよく確かめてください。
3. 時計のアラーム、携帯電話等の電源は切ってください。
4. 机の上に置いてよいものは、①受験票、②筆記用具（鉛筆、ペン、消しゴム）、③鉛筆削り（電動式を除く）、④時計（携帯電話やPHSを時計として使用することは認めない）、⑤メガネ、⑥目薬、⑦ティッシュペーパー、⑧ハンカチです。これらは、予め机の上に置いておいてください。
5. 上記4で掲げた試験のために必要なもの以外は、かばんに入れて椅子の下に置いてください。電源を切った携帯電話も、身につけず、かばんに入れてください。
6. 配布物は、①問題冊子、②解答用紙、③下書き用紙、④六法の4種類です。足りないものがあつたら、挙手で合図し、試験監督にその旨申し出てください。
7. 解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入してください。解答用紙は、全部で5枚あります。そのすべてに受験番号と氏名の記載欄がありますので、漏れなく記入してください。なお、解答用紙はホチキスで綴じられていますが、その針は外さないでください。
8. 試験問題は、問題1～5の5つがあります。必ず指定の解答用紙を使ってください。解答用紙はそれぞれ両面になっています。
9. 試験時間は、120分です。中途退席は原則として試験開始後40分まで認めません。また、中途退席者は、再度入室することができません。試験終了直前の10分間も退席できませんので、よく注意してください。ただし、気分が悪くなったときや、トイレに行く必要があるときなどは、近くの監督者に挙手で合図し、遠慮なく申し出てください。
10. 試験開始後、受験者本人であることの確認（写真照合）を行います。その際は、監督者にご協力ください。

以下の5問、問題1から問題5にすべて解答せよ。

(配点：全問とも50点)

**問題1**

民法177条の「第三者」について、その意義、内容及び範囲を中心として、判例の立場にも言及しながら論じなさい。

**問題 2**

以下の事実関係を読み、設問に答えなさい。

**【事実関係】**

AはBに5000万円を貸し付けていた。Bには、評価額約1億円の自宅マンション甲以外にめぼしい財産はなかった。Bは妻Cと離婚することになり、Cに財産分与として自宅マンション甲を譲渡した。

**〔設問〕**

AはBのマンション甲の譲渡を民法424条の詐害行為取消権に基づいて、取り消すことを考えた。Aの取消権の行使は認められるか検討しなさい。

**問題3**

有責配偶者による離婚請求は、認められるか。民法 770 条及び判例の動向を踏まえて、論じなさい。

**問題 4**

手形法 16 条における裏書の資格授与的効力について説明しなさい。

**問題 5**

当事者が口頭弁論において攻撃防御方法を提出する場合について、民事訴訟法はどのように規律しているか説明しなさい。